

《 人権を尊重した主な取組や成果 》

当庫では、すべての役職員がハラスメントを受けることなく、安心して働くことができる就労環境を確保するため、「あらゆるハラスメントの根絶」の実現に向け、取り組んでいます。

また積極的に職員の健康管理に取り組み、総労働時間の縮減や、子育てと仕事を両立できる制度を整備し、男女ともに気兼ねなく制度を利用できる職場づくりを進めています。

その結果、国や北海道から各種認定を受け、育児休業等の育児を目的とする休業・休暇制度を利用する職員の割合が男女ともに年々向上する等、職員が互いを認め、尊重し、助け合いながら働き方の多様性に対応し、いきいきと働くことができる職場環境の整備に繋がっています。

特に力を入れている取組

あらゆるハラスメント防止に関する取組

ILO条約を広く盛り込み、国内法の基準を超える『労働金庫業態におけるあらゆるハラスメント禁止ガイドライン』に基づく「あらゆるハラスメントの根絶」の実現に向けた取組を実施。

- ・当庫ホームページによる公表
- ・職員に向けた労使共同メッセージの発信
- ・コンプライアンス・ダイレクト制度の周知
- ・職員研修の実施

女性

高齢者

障がいの
ある人

ワークライフバランス実現への取組

- ノー残業デー、定時退庫週間の実施
- 年休取得促進に向けた取組み
- 仕事と家庭の両立支援(2021年度実績)
 1. 女性職員の育児休業取得割合: 100%
 2. 男性職員の育児休業及び育児目的休暇の取得割合: 72%
 3. 平均年次有給休暇取得率: 82%

女性

子ども

高齢者

公的認定制度の認定

- 北海道働き方改革推進企業制度(最高位「ゴールド認定」)
多様な人材(女性、高齢者、障がい者、若者)の活躍や就業環境(多様な働き方の導入、仕事と子育て・介護等の両立)の改善などが高く評価されました。
- 厚生労働省「くるみん認定」
育児休業・職場復帰しやすい職場環境を整備し、「年休取得促進」「ノー残業デー」等に取り組む要件を満たしました。

女性

子ども

高齢者

社会貢献事業

- <ろうきん>の利用実績に応じて、地域貢献活動を行う団体に寄付をする、会員・推進機構と<ろうきん>が一体となって地域における共生社会の実現を目指す「つなぐプロジェクト」を実施。(2021年度実績～34団体、総額589万円)
- 2022年度は、寄付分野を「保健・医療・福祉、子ども健全育成」と設定し、地域課題の解決に寄与する取組を展開しています。

女性

子ども

高齢者

障がいの
ある人

関連した取組

■人権に関する他の制度などの認定状況

- ・くるみん認定
(厚生労働省、2022年11月)
- ・北海道働き方改革推進認定企業制度
ゴールド認定(北海道、2021年3月)



■SDGsの取組と目指すゴール

創立以来、一貫して勤労者に寄り添い、その生活を金融面からサポートしてた<ろうきん>の設立経緯や理念・ビジョンは、SDGsのスローガン「誰一人取り残さない」や「金融包摂」の考え
方と合致するものです。



会社概要

<ろうきん>は、はたらく人たちが互いを助け合う、あたたかな“環(わ)”から生まれた、“はたらく仲間の金融機関”です。その基本姿勢も、社会的な役割も、暮らしに役立つ商品やサービスもすべてが、はたらく人の生活の視点から発想されたものです。「会員・地域・利用者とのつながりによる『しあわせの循環』の創造」をビジョンとして掲げる、はたらく人たちの夢をかなえる金融機関＝生活応援バンクです。

[企業ホームページ] <https://www.rokin-hokkaido.or.jp>

企業情報

設立年	1951年(昭和)
出資金	32億円
代表者	理事長 出村 良平
従業員数	723人
本社所在地	札幌市